

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社15社（前中間連結会計期間は13社）で構成され、銀行業務を中心に、リース業務等の金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、当行グループは、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

なお、「銀行業」は、当行の銀行業務と連結子会社の銀行事務代行業務、信用保証業務、クレジットカード業務、有価証券投資業務、投資ファンドの運営業務を集約しております。

「リース業」は、連結子会社のいよぎんリース株式会社において、リース業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	51,853	7,560	59,413	1,343	60,757	—	60,757
セグメント間の内部経常収益	259	364	624	629	1,253	△1,253	—
計	52,113	7,924	60,038	1,973	62,011	△1,253	60,757
セグメント利益	19,898	402	20,301	312	20,613	△14	20,598
セグメント資産	6,824,558	52,484	6,877,043	11,091	6,888,134	△44,632	6,843,502
セグメント負債	6,204,060	34,725	6,238,786	4,911	6,243,698	△34,976	6,208,721
その他の項目							
減価償却費	2,044	18	2,062	40	2,103	△54	2,049
資金運用収益	39,046	47	39,093	3	39,097	△65	39,031
資金調達費用	3,579	64	3,643	0	3,644	△53	3,590
特別利益	3	13	17	—	17	—	17
(固定資産処分益)	(3)	(13)	(17)	—	(17)	—	(17)
特別損失	175	0	175	0	175	—	175
(固定資産処分損)	(26)	(0)	(26)	(0)	(26)	—	(26)
(減損損失)	(149)	—	(149)	—	(149)	—	(149)
(金融商品取引責任準備金繰入額)	—	—	—	(0)	(0)	—	(0)
税金費用	6,105	42	6,147	95	6,243	1	6,244
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,842	133	1,976	15	1,992	△224	1,767

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。

3. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△44,632百万円は、セグメント間取引消去であります。

(3) セグメント負債の調整額△34,976百万円は、セグメント間取引消去であります。

(4) 減価償却費の調整額△54百万円、資金運用収益の調整額△65百万円、資金調達費用の調整額△53百万円、税金費用の調整額1百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△224百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	55,737	8,123	63,861	1,070	64,931	—	64,931
セグメント間の内部経常収益	256	246	502	726	1,229	△1,229	—
計	55,994	8,370	64,364	1,796	66,160	△1,229	64,931
セグメント利益	17,541	192	17,734	26	17,761	9	17,771
セグメント資産	7,029,954	56,984	7,086,939	11,411	7,098,350	△44,104	7,054,246
セグメント負債	6,376,681	36,975	6,413,656	4,902	6,418,559	△34,473	6,384,085
その他の項目							
減価償却費	2,048	16	2,065	30	2,095	△76	2,019
資金運用収益	39,432	61	39,494	4	39,498	△65	39,433
資金調達費用	5,118	63	5,181	0	5,181	△52	5,129
特別利益	5	—	5	—	5	—	5
(固定資産処分益)	(5)	—	(5)	—	(5)	—	(5)
特別損失	272	—	272	1	273	—	273
(固定資産処分損)	(267)	—	(267)	(0)	(268)	—	(268)
(減損損失)	(4)	—	(4)	—	(4)	—	(4)
(金融商品取引責任準備金繰入額)	—	—	—	(0)	(0)	—	(0)
税金費用	5,153	61	5,215	18	5,234	0	5,234
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,250	0	3,251	19	3,270	△41	3,229

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額9百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額△44,104百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (3) セグメント負債の調整額△34,473百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (4) 減価償却費の調整額△76百万円、資金運用収益の調整額△65百万円、資金調達費用の調整額△52百万円、税金費用の調整額0百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△41百万円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。